

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	こどもヶ丘保育園根岸園
活動日時	令和7年6月25日
クラス名(年齢)	きりんぐみ(4歳児)・らいおんぐみ(5歳児)
年間テーマ	色

1.活動テーマ

〈テーマ〉

色

〈テーマの設定理由(子どもの姿)〉

絵の具を使った製作活動をした際、絵の具が混ざって色が変わることに興味を持つ子どもの姿が多く見られた。

色を混ぜることで起こる変化を楽しめるようにしたい。

2.活動スケジュール

4～5人ずつ15分程度の色水遊びを楽しむ。(5グループ)

3.環境をデザインする

色の変化がわかりやすいよう透明のプラカップを準備する。

3つのタライに色水を入れ、お玉で色水をすくってコップに入れる。




4.探求活動の実践

〈活動内容〉

一人一つのプラカップを持ち、色水を自由にプラカップに入れて遊ぶ。
カップの中に色水がいっぱいになったら水道に流し、再び色水を作って遊ぶ。

混ぜることから起こる変化を繰り返し試しながら、気付いたことを友達や保育者と共有していった。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

子どもの言葉・姿	写真
<p>〈5歳児2名のやり取り〉 昨年度の経験から、Aが「紫をつくろう。」とBに誘いかける。Aは赤、青、黄、白を混ぜる。薄い茶色ができる。 A「カフェオレが出来た。」 B「私もつくる。」 机にコップを並べ、コーヒー屋さんごっこを楽しむ。</p> <p>〈5歳児2名のやり取り〉 C「きれいな色ができた。」 D「どうやって作るの?」 C「青はいっぱい、黄色は少しだけ。」 D児が繰り返し、色の割合を変えてエメラルドグリーンを作る。</p> <p>〈4歳児3名のやり取り〉 E「先生の好きな色(紫)出来たよ。」 F「どうやって作ったの?」 G「わからない。」 F「分かったら教えてね。」 H「赤と青だよ。」</p> <p>〈4歳児の姿〉 ・出来た色が着ていた洋服の色と同じ色になり、喜ぶ。 ・遊びを繰り返していくうちに、タライの上でコップを持ち、色水を入れると机にこぼれないことに気付く。 保育者に「先生、わかった!ここで入れればこぼさずに遊べるよ。」と他児にも伝える姿があった。</p>	  

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

昨年ぶりに色水を混ぜる活動を行った。色が変わっていく様子を、友達と会話をしながら繰り返し楽しむ様子が見られた。好きな色をつくろうと繰り返し試している子に、色の三原色を知っている子がアドバイスをする姿があった。

三原色を知らない子、知っている子のそれぞれの発想で、色が混ざっていく様子や色の発見を楽しめるようにしていきたい。今後は、三原色を知っている子と知らない子のグループに分けていく。

また、お玉以外の道具を用意し、混ぜる量も調節できるようにしていきたい。

じっくりと楽しめるよう、グループの人数を3～4人に減らして活動を進めていく。